

あとがき

2010年(82巻)の鏡下囁語は、1月号・2月号と私の恩師お二人が続きました。1月号は市村恵一先生(自治医科大学)の教育論。私自身、駆け出しの時期に、市村先生という素晴らしい教育者の下で学ぶことができたことは本当に幸運でした。お会いして20年、医師としても教育者としてもまだまだですが、市村先生の教育方針を肝に銘じて、現役生活の後半、後進の育成に励みたいと思います。それにしても、辻静雄さんの「人間は楽しみにすることを職業にしてはいけない」との言葉には、ハッとしました。私自身も仕事を仕事と思わず、趣味のように楽しんでしまっているところが多々あります。このことは、恵まれない労働条件で働くわれわれ勤務医にとっては、生命線ともいえる大切なモチベーションだと思いますが、そのなかにいろいろな甘えが生じてくることを戒めるものなのでしょうか。

今月号の鏡下囁語は加我君孝先生(東京大学名誉教授)の万年筆のお話。たしかに加我先生からのお便りはいつも太字の万年筆です。一目で誰からかわかる大きな字で書かれた温かい一言は、短いですがとても励みになります。私が愛用しているのは、教授就任祝いに貰ったモンブランの万年筆。やはり太字です。同じく耳鼻咽喉科医である妹から、「教授の署名が教室員の先生方の人生に大きくかわるのだからね」と渡されました。就任して今年で10年目、その言葉の重みを実感しています。

万年筆に限らず、カルテも手帳も電子化で、ボールペンを持つ機会もめっきりと少なくなりました。ちょうど今この編集後記を書きながら、隣のPCで年賀はがきの宛名印刷をしています。まとめて文字を書くのは年に一度、この年賀状の裏書きぐらいでしょうか。お世話になった先輩、一緒に働いた同僚や後輩、友人へと数えていくと、全部で650枚。手抜きをして、今年は何も書かずに済まそうとも思いましたが、「教授からの年賀状に何も書かれてないとやっぱり寂しいと思いますよ」と教室員の森本君に諫言され、とても元旦には間に合わないだろうなと思いつつ、今年も何か一言書くことにしました。

さて、今月号がお手元に届くのは1月下旬の予定です。読者の皆様には編集委員から今年初めてのご挨拶となりますね。本年も本誌『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』をご愛読いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。(丹生 健一)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

竹 中 洋

編集委員

八 木 聡 明

吉 原 俊 雄

丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第82巻 第2号)

発 行 株式会社 医学書院

2010年2月20日発行(毎月1回20日発行)

代 表 者 金原 優

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

2010年 年々ぎめ予約購読料 39,950 円
※電子ジャーナル閲覧オプション付 52,000 円
増刊号を含む13冊, 税込, 送料小社負担

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/>です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/>です。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・**JCOPY** < (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。